

## 特許出願公告及特許拔萃

## 特許出願公告

**アルミニウム板上に鉛鍍金をなす方法** (11 年特許公告第 1231 號、公告 11-3-30、東京市、日本電氣工業株式會社) *Al* 板上に簡単に鉛鍍をせんとする目的を以て *Al* 板上に *Cd* 鍍を施し該 *Cd* 鍍上に直接に又は銀鍍を介して *Ni* 鍍を施し該 *Ni* 鍍上に更に鉛鍍を施すことを特徴とする *Al* 板上に鉛鍍金をなす方法。

**彎曲管類の水壓試験装置** (11 年特許公告第 1262 號、公告 11-4-1、神戸市、株式會社川崎造船所) 簡單なる装置を簡易なる操作方法に依り種々の管類の水壓試験を有效確實に行はんとする目的を以て、兩端部に夫々螺絲部を有し其下位に突縁を備ふる耐張棒の一端部に彎曲被試管の直径より大なる大きさを有するフレンジ付立方體狀緊締被蓋ブロックを水密的に堅持せしめて成れる被蓋體を装着し他端部に彎曲被試管の内径より稍小なる立方體狀被蓋ブロックを同様に水密的に堅持し更に該被蓋ブロックの外周には外に緊締環體を又内側に副環體を配装し且之を緊締環體とフレンジの間に介在せしめてなれる被蓋體を水密的に装着し且緊締被蓋ブロックと一方のフレンジとの間並に緊締環體と副環體との間及副環體と他方のフレンジとの間に夫々適當にパッキングを填裝しボルトにて水密的に緊締せしめたることを特徴とする彎曲管類の水壓試験装置。

**眞鍮細粉滓処理方法** (11 年特許公告第 1312 號、公告 11-4-6、東京市、古河電氣工業株式會社) 眞鍮細粉滓より *Zn* 及 *Cu* を有利に回収せんとする目的を以て、眞鍮合金製造の際生ずる滓を篩別して得たる細粉滓を硫酸又は硫酸性亜鉛電解廢液にて処理し不溶解殘渣を濾別して亜鉛を多量に含む硫酸亜鉛溶液を作る工程と此の溶液を精製して之を電解して陰極に金屬亜鉛を捕集する工程と不溶解殘渣を固結せしめて再熔解し眞鍮合金を製造する工程との結合より成る眞鍮細粉滓処理方法

**導電用摺觸子** (11 年特許公告第 1313 號、公告 11-4-6、大阪市、株式會社住友電線製造所) 摺觸子並に被摺觸體の損傷及び消耗著しく少く良好なる電氣的接觸を保持し得べき導電用摺觸子を得んとする目的を以て *Cu* 又は *Al* に *Pb* 又は *Sn* 若しくは兩者を含有せしめて化合物又は固溶體を構成せざる合金を資材とする導電用摺觸子。

**鐵管鑄造用外型成形装置** (11 年特許公告第 1375 號、公告 11-4-10、東京市、株式會社隅田川精鐵所) 壓縮空氣を利用して輕易且的確に衝桿を昇降し得べからしむる目的を以て、壓縮空氣に依り氣筒内を昇降せらるべき唧子に衝桿捕捉部を連結し上記氣筒に於ける配氣弁に *L* 字狀接觸槓桿の一方臂を連結せしめ其他方臂を前記捕捉部と共に昇降すべき接觸轉子に壓接せしめて衝桿捕捉取付盤を自動的に昇降せしむべくせることを特徴とする鐵管鑄造用外型成形装置。

**鑄型成型用ランマー取付装置** (11 年特許公告第 1376 號、公告 11-4-10、東京市、隅田川精鐵所) 特に鐵管鑄造用鑄型の如き圓筒型鑄型の成形に當り其深淺及方向の變化に適應してランマーの使用を容易ならしむる目的を以て、所要鑄型の上方に保持せらるべき壓縮空氣取入筒を縦貫して壓縮空氣誘導用兼ランマー保持棒取付用の一部中空桿を廻動自在に且空氣密的に結合せしめ該一部中空桿には下部に放射狀腕を有するランマー保持棒を裝置すると共に兩餘の中空部に筒内に於て通氣孔を形成せしむる外下部周側に當り壓縮空氣導出口を設け別に上記放射狀腕にはランマーと平衡用重錘とを振

分けとして吊持せる滑車棒を内外方向に移動し得べく支承せしめ更にランマーに於ける壓縮空氣供給口を可撓管に依り前記一部中空桿に於ける壓縮空氣導出口と常時連通せしめて成る鑄型成型用ランマー取付装置。

**磁性合金** (11 年特許公告第 1385 號、公告 11-4-10、東京市、古河電氣工業株式會社) 機械的外力に依る初導磁率の低下少く且つ初導磁率並に電氣抵抗共に大にしてヒステリシス損失少き合金を得んとする目的を以て *Ni* 45~83% *Cr* 0.3~13.5% *Si* 0.1~0.8% *Mn* 0.5~3.5% 殘部鐵並に夫等の不純物より成れる磁性合金。

**鑄型の分離装置** (11 年特許公告第 1413 號、公告 11-4-13、横濱市、日本鑄造株式會社) 本装置の使用に依り鑄造作業中鑄破を防止し鑄肌美麗にして均等なる組織を有する鑄物を容易且經濟的に得んとする目的を以て、2 個以上の鑄型片を組合せて成る鑄型に於て鑄込金屬の凝固收縮に依り壓迫抵抗を受くる突起部を一體に形成せる鑄型片と鑄造體を支持する鑄型片とを螺桿に依り螺合的に係合せしめ該桿に係着せる懸子の作用に依り上記螺桿を廻轉せしめて迅速且適確に鑄型を分離し得べくせる鑄型の分離装置。

**瓦斯定量調節器** (11 年特許公告第 1421 號、公告 11-4-13、西宮市、脇田政孝) 操作容易なる調節器を以て壓力不定なる瓦斯供給源より常に一定量の瓦斯供給をなせしめんとする目的を以て、内部に細孔間隙部を設けたる調節管の上端を開閉弁を介して大氣に通せしめ下端を細孔曲管を経て適當なる壓力指示計に連通せしめ前記細孔間隙部の上部は開閉弁を下部は調節弁を各介して供給管と壓縮瓦斯供給源とに夫々連通せしめてなる瓦斯定量調節器。

**密閉式電氣爐の改良** (11 年特許公告第 1470 號、公告 11-4-15、金澤市、釜谷常治) 電爐作業を簡單順調にすると共に原料の裝入を連續斷續任意に且増減自在ならしめ以て電爐能率を増進せんとする目的を以て、電極を上方より懸垂し負荷の調節を其の上下移動に依りて行ふ如くせる電氣爐に於て電燃のカバーを電極の上下移動と共に移動すべく電極懸垂機構に取付くるか又は別に懸垂し且つカバーは數片より構成せられ其の各片は電極を中心として其の周圍に水平方向に移動開放して原料の給送を任意ならしめたる密閉式電氣爐。

**シャベル又はスコップの製造方法** (11 年特許公告第 1486 號、公告 11-4-17 境市、淺香本店) 主體と柄部との境界部に肉厚の實體部を形成し全體として堅牢にして耐久力大なる製品を得んとする目的を以て、1 個の鐵片を丁形に形成し柄に當る根部に隆起部を壓出し之を其兩側の薄き部分にて包圍し柄部となるべき部分を管狀に捲曲してなるシャベル又はスコップの製造法。

**冷處理を行ひたる線狀或は帶狀磁性材料を用ふる裝荷線輪磁心或はクララツプ裝荷材料の製作方法** (11 年特許公告第 1487 號、公告 11-4-17、獨逸國、シーメンス、ウント、ハルスケ、アクチエンゲゼルシャフト) 製作せられたる線輪磁心或は裝荷の磁氣損失を低下せしめんとする目的を以て、線狀或は帶狀磁性材料を捲くに先立ち角或は直径小なる轉子上にて壓引して豫備曲率を與ふることを特徴とする冷處理を行ひたる線狀或は帶狀磁性材料を用ふる裝荷線輪磁心或はクララツプ裝荷材料の製作方法。

**耐火物の製造法** (11 年特許公告第 1492 號、公告 11-4-17、獨逸國、ローベルト、ボツシュ、アクチエンゲルシャフト) 電氣抵抗大にして容易且つ低廉に製造するを得べき特に内燃機關の着火栓に好適なる耐火物を得んとする目的を以て、原化學的成分が  $X\text{Mol}$

$Si_2O \cdot 1Mol Al_2O_3 \cdot 1Mol MeO \cdot Y Mol H_2O$  (X は 5 以下の完全数にして Y は必ずしも完全数ならざる数) なる式に相當する灼熱せる沸石を混合して高耐火材料を熔固し該式中  $SiO_2$  を當量の  $TiO_2$  にて且  $Al_2O_3$  を當量の  $Fe_2O_3$  又は  $Cr_2O_3$  にて置換するを得べく  $MeO$  はアルカリ又はアルカリ土類金屬の酸化物又は該酸化物の混合物を意味すべくせることを特徴とする耐火物の製造法。

**亞鉛其他金屬の蒸餾装置** (11 年特許公告第 1493 號、公告 11-4-17、堺市、森西由次郎) 之を酸化亞鉛、亞鉛末等の製造に使用して其の製品の收得率を増大せしめ且つ製品の品位を向上せしめんとする目的を以て蒸餾口か水平方向に向ひ且つ出口に接近して其の間隔を狭小ならしむべくしたる突起部を有する挿嵌體を嵌合して成るレトルトを内部に配置したるを特徴とする亞鉛其他金屬の蒸餾装置。

**Ni 又は Cu の電解液より不純物を除去する方法** (11 年特許公告第 1724 號、公告 11-5-4 東京市、正木康作) Ni 又は Cu の電解液中に存在する As, Sb, Fe, Se, Te, Bi 等の不純物を容易且簡単に除去せんとする目的を以て Ni 又は Cu の電解液を  $50^{\circ} \sim 60^{\circ}C$  に於て攪拌しつゝ之に適量の酸化 Ti を加へ Ni 又は Cu 以外の不純物を沈澱除去せしむる事を特徴とする Ni 又は Cu の電解液より不純物を除去する方法。

**無錆鋼粉末を含有する塗料** (11 年特許公告第 1728 號公告 11-5-4、大不利顯國チャールズ、デュドレー、ライダー) 従來の金屬を基材とせるペイント、プライマー、エナメル及ラッカーの缺點を削除し此種の塗料として最も優秀なる特性を備ふる金屬基材塗料ペイント、プライマー、エナメル及ラッカーを簡易に且經濟的に得むとする目的を以て  $cm^2$  に對し孔 10,000 個の等級の細度及夫れ以下の細度に細碎せられたる無錆鋼粉末より成れる基材を 7%~25% 程度の合成樹脂又は天然樹脂又は兩者の混合物と乾燥剤の或る割合とを含有し更に之に他の組成成分を添加し又は添加せずして成れる粘性ヴェヒクル(Vehicle) に結合せしめ併かも該ヴェヒクルに前記無錆鋼粉末の 10~75% を添加して成れる無錆鋼粉末を含有する塗料。

**電氣爐電極支持装置** (11 年特許公告第 1750 號、公告 11-5-4、諾威國、デト、ノルスケ、アクチセルスガブ、フオーアエレクトロミスク、インダストリ) 電極を確實に支持し電極の消耗につれて順次之を壺内に降下せしめ且電極の上方に於ける流體糊狀よりの靜壓力によりて作動中に變形する事なき様電極を補強する電氣爐電極支持装置を得んとする目的を以て電極の接觸楨杆に關聯し且末端が組合はされて電極を圍繞する取外し可能の梁と該梁の懸吊装置と該懸吊装置を最下梁より上方梁へ順次着脱可能に定着せしめ電極の消耗せらるゝに連れて最下梁を懸吊装置の支持より離脱せしめ同様の他の上方梁を懸吊装置に支持せしむる装置とによりて構成せるを特徴とする下方焼成部と上方焼成部とよりなる電氣爐用電極に對する支持装置。

**天然に産出する珪酸マグネシウム鹽よりマグネシウム炭酸鹽を製造する方法** (11 年特許公告第 1795 號、公告 11-5-8、東京市、正木康作外三名) 本邦に多量に産出する蛇紋岩其の他の珪酸 Mg 鹽より有利に Mg 炭酸鹽を製造せんとする目的を以て天然に産出する蛇紋岩其の他の珪酸 Mg 鹽を約  $500 \sim 900^{\circ}C$  の溫度に加熱し次いで水蒸氣及炭酸瓦斯或は炭酸瓦斯を含有する瓦斯を以て処理せる後之を冷却し水にて処理して殘渣と液とを分離し液より過剰の炭酸瓦斯を排除することに依り天然に産出する珪酸 Mg 鹽

より Mg 炭酸鹽を製造する方法。

**毛細管狀抵抗體製造法** (11 年特許公告第 1819 號、公告 11-5-8、東京市、堀眞三郎) 天然瓦斯に熱處理を施してベンゾール化する場合加熱と接觸の兩作用を兼ねたる抵抗體を得る目的を以て炭素又はカーボランダム如き抵抗體物質の微細末に石炭の如き耐熱可溶性物質の微細末を混和し之にタール、ピッチの如き粘着劑を配合し壓搾燒成したる後混和せる物質のみを溶解除去して製造する毛細管抵抗體の製造法。

**珪酸 Ni 鹽を分解して含有金屬酸化物と珪酸とに分離せしむる方法** (11 年特許公告第 1516 號公告、11-4-20、東京市、正木康作、外 3 名) 珪酸 Ni 鹽中に多量に含有せらるゝ、珪酸 Mg を分解して遊離狀態の MgO と  $SiO_2$  とを生成せしめんとする目的を以て、珪酸 Ni 鹽を  $550^{\circ}C \sim 800^{\circ}C$  の溫度に加熱して珪酸 Ni 鹽中に含有せらるゝ Mg 其の他の金屬の珪酸鹽を分解して Mg 其の他の含有金屬の酸化物と珪酸とに分離せしむる方法。

**第一 Fe Zn Mn Co を含有する溶液より Co を分離する方法** (11 年特許公告第 1517 號、公告 11-4-20、東京市、永井由太郎) Cu の濕式製煉の廢液の如く第一 Fe Zn Mn Co 等を含有する溶液より簡單なる操作を以て經濟的に Co を回収せんとする目的とす。

**寫眞版用亞鉛銀** (11 年特許公告第 1521 號、公告 11-4-20、大阪市、住友金屬工業株式會社) 大なる腐蝕性を有し且つ裏燒するも尙適當の硬さを有し著しき結晶の發達なき寫眞版用亞鉛銀を得んとする目的を以て、Ni 2~0.01% Li 1~0.005% を含める亞鉛合金より成る寫眞版用亞鉛銀

**Mo 又は W を含む化合物の處理方法** (11 年特許公告第 1545 號、公告 11-4-22、大阪府、化學研究所長) 簡易に W 又は Mo 含有物より不純物を含むこと少き W 又は Mo 化合物を得んとする目的を以て、W 又は Mo を含む鹽及アルカリ金屬以外の金屬か Mo 酸鹽の形に結合して存在せりと見做し得らるゝが如き Mo 化合物の含有物にアルカリ金屬の硫酸鹽を加へ酸化焙燒じつゝ水蒸氣を通して W 又は Mo 分を夫々水に可溶性のアルカリ金屬の W 酸鹽又は Mo 酸鹽に變化せしめ之を抽出する W 又は Mo 含有物の處方法

**Mo 又は W を含む化合物の處理方法** (11 年特許公告第 1546 號、公告 11-4-22、大阪府、化學研究所長)

**脆弱合金製造方法** (11 年特許公告第 1547 號、公告 11-4-22、亞米利加合衆國、インターナショナル、スタンダード、エレクトリック、コーポレーション) 裝荷線輪用壓粉心等に使用する脆弱合金の有効簡單なる製造方法を提供せんとする目的を以て、熔融せる鐵、Ni 合金又は之を主成分とする合金に Se Te の内より選擇せる組成成分を附加することよりなる脆弱合金製造方法

**鑄造用木型表面に使用する耐水性微粉末の製法** (11 年特許公告第 1564 號、公告 11-4-22、東京市、勝川平太郎) 鑄造用木型の表面に塗着使用する耐水性にして型の分離完全なる粘土類の微粉末を得る目的を以て、粘土類の微粉末に水に不溶性なる脂肪酸の金屬鹽を加へ更に適量の乾性又は半乾性油を加へ水蒸氣を加へつゝ加熱攪拌混合したる後之を  $100^{\circ}C \sim 350^{\circ}C$  の溫度にて乾燥せしめ機械的に粉砕することを特徴とする鑄造用木型表面に使用する耐水性微粉末を製する方法

**鑄鐵管の遠心力鑄造法** (11 年特許公告第 1583 號、公告 11-4-24、大阪市、久保田權四郎) 内面に鍍滓酸化鐵等の附着隆起すること無き平滑圓なる長き鐵管を長き湯槽を用ふることなく簡單なる操作に依りて鑄造せんとする目的を以て、略水平位置にある細長

き中空圓筒形の鑄型を臨界速度以上の高速度に廻轉せしめ置き其の端口に向て高所より導樋によりて熔金を型内に射入し其導樋の高さをして之に依りて得らるゝ熔金の射入速度を鑄型内面に沿ひつゝ他端に向つて該注入熔金を螺旋狀に流走せしむる様に定むる事より成る鑄鐵管の遠心力鑄造法

**中空ボール製造機** (11年特許公告第1584號、公告11-4-24、北海道、中川新作) 比較的、簡單なる装置に依り齊一なる硬度を有する中空ネルドボールを得る目的を以て、溝車を備ふる數多の鑄型を無端鎖帶に廻轉自在に支持せしめ該鎖帶の内側に該溝車を驅動する無端帶を設け鑄型を熔融鐵供給位置よりボール摘出位置に移動せしめる途中に於て鑄型を其軸を中心として急速度にて廻轉し熔融鐵が遠心力の作用を受くべくなしたる中空ボール製造機

**金屬體より其表面の金屬を剝取する方法** (11年特許公告第1587號、公告11-4-24、亞米利加合衆國、ゼ、リンデ、エヤー、プロダクツ、コムパニー) 酸化用氣流の一群に依り同時に表面金屬の大部を剝取し其時生ずる鱗金狀物質の分量を著しく減少し從つて之を除去する勞力を省き剝取工費を低廉となす目的を以て、剝取すべき金屬は燃燒温度に高め而して酸化用瓦斯氣流の一群を該加熱金屬に銳角度にて加へ此等の酸化用瓦斯氣流は少くとも加熱金屬を一部分酸化する様且つ加熱面の全體の部分より而して酸化用瓦斯氣流の前方に吹散する様大體平行ならしめたことを特徴とする金屬體の表面より金屬の部分剝取する方法

**繼目なし管の製法** (11年特許公告第1591號、公告11-4-24、獨逸國、フエルアイニヒテ、スタールウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 此種管の製法に於て從來遭遇したる各種の不利益を排除せんとする目的を以て、内側及外側に於て、中空素材上に作用し夫々該素材の軸に對して傾斜して該素材の内外兩面に螺旋狀に展開排列せられ夫々異りたる大きさの作用部を備ふる複數對の輦子を使用し最初の一對によりて素材の金屬に溝を形成し該溝を順次後續する對の輦子にて擴大しつゝ最初の對の輦子に依りて縮小せられたる素材部分を漸次素材の一端へ向て延長せしむる中空素材より管を製する方法に於て最初の輦子對の作用肩部は最後に形成せらるべき管の壁の厚さに相當するよりも遙に淺き溝を形成し次いで該溝を順次後續する輦子對によりて深め以て遂に所望の深さに達せしむべくをすることを特徴とする中空素材より繼目なし管を製造する方法

**アルミニウム合金** (11年特許公告第1597號公告11-4-24、英國ロールス、ロイス、リミテッド) 鑄造の際流動性を増加し以てパイピングの現象を少からしめたる此種合金を得んとする目的を以て  $Cu$  0.5~5.0%  $Mg$  0.03~1.7%  $Ni$  1.5~2.5%  $Fe$  0.2~0.6%  $Si$  0.5~2.8%  $Ti$  0.3%以下  $Mn$  0.3%以下  $Al$  殘餘を含有して成る  $Al$  合金

特 許 抜 萃

特許番號	名 稱	特 許 權 者	公 告 抜 萃 掲 載 本 誌 番 號
114575	金屬鍍に依る鍍金の被覆方法	國 頭 一 二	第 21 年 10 號
114581	硫酸亞鉛、鹽化亞鉛リトボレー及亞鉛の電氣製煉の際に生ずる精製滓より金屬カドミウムの回收法	三井鑛山株式會社	第 21 年 11 號

114618	至硬金屬體に貫通内形賦形する方法	三菱鑛業株式會社	第 21 年 12 號
114668	アルミニウムの炭化物生成法	日本金屬工業株式會社	第 21 年 12 號
115096	タングステンを含む鑛石の處理方法	化學研究所長	第 22 年 2 號
115072	マグネシウム又は其の合金の防蝕法	山 内 勇 亮	第 21 年 1 號
115123	輕金屬或は其合金上へ他金屬を鍍着する方法	藤 井 毅 太 郎	第 21 年 10 號
115020	至硬合金製造方法	小 西 貫 一	第 21 年 11 號
114737	鋼の脱磷方法	ソシエテ、デレクトロシミニイ、デレクトロメタルエジイ、エ、デ、ザシエリ、ゼレクトリク、デユヰイ	第 21 年 1 號
114738	壓縮瓦斯容器の回生方法	太 田 啓 三 郎	第 21 年 11 號
114756	材料試験に於ける唧子及唧筒	石 川 悅 治	無 し
114787	熔 銑 爐	長谷川岩藏外一名	第 21 年 11 號
114831	鉛合金製造方法	インターナショナル、スタンダード、エレクトロリツク、コーポレーション	第 21 年 12 號
114838	銀及 Ni を含有する青化加里溶液の處理方法	造 幣 局 長	第 21 年 11 號
114843	切削の工具製造法	鈴 木 平 七	第 21 年 11 號
114848	銅の脱酸方法	ソシエテ、デレクトロシミニイ、デレクトロメタルエジイ、エ、デ、ザシエリ、ゼレクトリク、デユヰイ	第 22 年 1 號
114877	硬質輕合金	中 山 孝 廉	第 22 年 1 號
114913	精 銅 方 法	ソシエテ、デレクトロシミニイ、デレクトロメタルエジイ、エ、デ、ザシエリ、ゼレクトリク、デユヰイ	第 22 年 1 號
114954	金 合 金	井 上 友 喜	第 22 年 1 號

**鐵兜用低 Mn. Cr. Mo. V. 合金鋼の製造** (出願昭和 6-12-7、特許昭和 8-4-5、西宮市、發明者杉本正邦、特許權者、陸軍大臣 特許第 100433號)

發明の性質及目的の要領 本發明は  $Mn$  0.5%~2.0%  $Mo$  0.1~0.6%  $V$  0.1~0.5%  $Cr$  0.2~1.0% を含有する合金鋼に係り其の目的とする所は強大なる抗堪力を有し鐵兜及防楯板に好適する地金を製造するにあり。

發明の詳細なる説明 本發明は特許請求の範圍に示す地金を熱間に於て鍛鍊し 800°C にて焼鈍し冷間加工を爲し 850°C 以上に於て油又は水焼入を行ひ同 400° 以下に於て焼戻す 本發明に係る地金に前項の熱處理を施したるものの射撃試験成績は  $Ni$   $Cr$  鋼低  $Mn$ 、 $Cr$ 、 $V$  鋼及高  $Mn$  鋼の製品に比し優秀なり即ち彈子徑 14.5mm 存速 300 m に於て 1.2 mm の厚を有する前記各地金の鋼板に對する射撃試験の結果彈痕の深さは本發明合金鋼に於て 17mm~19mm  $Ni$ 、 $Cr$  鋼に於て 19mm~21mm 低  $Mn$ 、 $Cr$ 、 $V$  鋼に於て 19mm~22mm 高  $Mn$  鋼に於て 30mm~40mm にして本發明合金鋼最も良好なる成績を示せり、特に本發明合金鋼に  $V$  及  $Mo$  を含有せしめあるは之により脱炭を行はしめ等齊なる金屬を得て加工を容易ならしむると共に韌性を減ずることなく硬度及彈性界を増大せしめ以て射撃に對する抗堪力を著しく大ならしむるにあり、次の成分を有する地金にして之を 850°C 以上より水又は油中に焼入を行ひ更に同 400° 以下に於て焼戻せるもの  $C$  0.3~0.6%  $Mn$  0.5~2.0%  $Cr$  0.2~1.0%  $Mo$  0.1%~0.6%  $V$  0.1~0.5%。